

第172号

2026.3  
(令和8年)

# ひこね 市議会だより

令和7年12月定例会 (12月1日～12月22日)  
令和7年12月臨時会 (12月26日)

- 特集 子ども議会 …………… 2～5
- 12月定例会で決まったこと …… 6～10
- 個人質問 …………… 11～21
- 12月臨時会の結果 …………… 22
- 特別委員会レポート …………… 23
- お知らせ …………… 23～24



子ども議会を開催しました  
令和7年11月16日(日)

# 第16回 子ども議会を開催しました。

彦根市の未来を担う子どもたちに、議員として質問や提案をすること  
目的に子ども議会を開催しました。  
第16回を迎えた今回は、市内17小学校の6年生24人が子ども議員と

を通じて、市議会や市の取組を身近に感じ、興味を持ってもらうことを  
して参加しました。

**7月30日(水) 事前研修会**

事前研修会では、子ども議員選出書の交付を受け、子ども議員として第一歩を踏み出しました。  
その後、市議会や市役所の仕事についての説明を受け、本番で行う質問の作成に励みました。

**11月8日(土) リハーサル**

実際に議場に入り、議長の議事進行に従い質問をする手順や議事の進め方を学びました。  
初めての経験に緊張と戸惑いを見せながらも、本番に向けて練習を重ねました。



▲質問作成の方法の説明に熱心に聞き入る子ども議員のみなさん



子ども議長と議席番号が発表され本番の流れの説明を受けました



議場へ向かう様子



席に着いたら標柱を立てます



先生と一緒に声出し練習

教育委員会の先生方の指導のもと、熱心に質問を作成する子ども議員

議場開放促進委員とともに市職員から直接説明を受ける子ども議員の姿も

議場も見学しました



▲議場開放促進委員のデモンストレーションを熱心に見つめる姿も

第1グループ

1番 若葉小学校 松澤 大成さん  
「少子高齢化の改善について」

2番 鳥居本小学校 佐々木 信理さん  
「学習者用端末について」

3番 城北小学校 金子 蓮さん  
「彦根城の世界遺産登録に向けた環境整備について」

4番 城西小学校 山田 結華さん  
「彦根市内で年中使える自習室を提供してほしい」

5番 高宮小学校 速水 紗良さん  
「魅力的な彦根市にするために」

6番 旭森小学校 馬場 零音渚さん  
「安全に暮らすための取組について」

7番 鳥居本小学校 山口 凜さん  
「佐和山トンネル付近の渋滞解消について」

8番 城陽小学校 比喜多 優奈さん  
「彦根市の小児科の医療の充実について」



11月16日本番!

当日は、3つのグループにわかれて質問しました。事前研修会やリハーサルでの学びを生かして元気に質問する姿が見受けられました。なかには、市長や部長からの答弁を聞いたうえで、再質問を行う子ども議員もいて、実際の議会さながらの子ども議会となりました。

傍聴者の“声”

子どもたちならではの柔軟な発想や考えをたくさん聞くことができ、その質問すべてがなるほどと思える内容ばかりで驚きました。

子どもたちにとって大変貴重な経験になったと感じました。

人前で分かりやすく自分の意見を述べることや様々な意見・答弁を聞くことは、子どもにとって生きた学びになったと思う。

第3グループ

17番 稲枝北小学校 黒木 颯人さん  
「稲枝北小学校の校門付近の改修について」

18番 佐和山小学校 河端 梨乃さん  
「若者の投票率の向上について」

19番 金城小学校 飯干 和さん  
「彦根市の熱中症対策について」

20番 平田小学校 吉田 琉空さん  
「子どもが悩みを気軽に相談できる環境づくりについて」



9番 城東小学校 服部 匡紀さん  
「学校のエレベーター設置について」



9番 城東小学校 服部 匡紀さん  
「学校のエレベーター設置について」



10番 城南小学校 門川 咲優さん  
「トイレの清潔感を出すために」



11番 亀山小学校 澤田 柳さん  
「災害に強い、魅力ある彦根のまちづくりについて」



12番 河瀬小学校 川瀬 東吾さん  
「彦根城を世界遺産にするために」



13番 亀山小学校 西澤 千悠さん  
「彦根の南部に気軽に本が読める場所をつくってほしい」



14番 稲枝西小学校 仲村 春乃さん  
「通学路の安全強化について」



15番 城南小学校 山口 響輝さん  
「彦根市内の全小中学校の更衣室の設置について」



16番 城陽小学校 江畑 駿さん  
「小学校での社会体験の機会を増やす」



第2グループ子ども議長

大橋 達樹さん



市長が答弁する様子

21番 稲枝東小学校 カミムラ パウロ ロベルトさん  
「待機児童の増加に対して、彦根市がしている取組は」



22番 佐和山小学校 高田 柚菜さん  
「獣害対策について」



23番 金城小学校 海外 恵輔さん  
「琵琶湖のごみを減らすための取組について」



24番 稲枝北小学校 大橋 達樹さん  
「スクールバスを導入してほしい」



子ども議員の“感想”

- 議会の場に立った経験は一生の宝物だなと思いました。
これからも市民の一人として、市が豊かになるような取組を考えていきたいです。
学校では学べないことを教えていただき、とても良い経験になりました。
子ども議会に参加して、市の政治について興味を持ち、もっと調べたいと思いました。

子ども議員の“感想”

- 子ども議会に出て、前より人前で話すことが楽しくなりました。
子ども議会を通して、自分たちの意見を伝えることの大切さを知りました。
議会があることで様々な人の提案を生かして、市がより良くなっていくんだなと思いました。
これからもこのような素晴らしい経験をたくさん子どもたちにしてもらえると嬉しいです。

# 12月定例会の結果

## 12月定例会の結果

原案のとおり 予算関係6件 条例関係15件  
 可決 その他の議案9件 委員会議案1件  
 審査庁の見解のとおり棄却されるべき 諮問1件

### 12月定例会 議案の審議結果 会期：12月1日(月)～12月22日(月)

#### ■全員賛成で可決等した議案等

項目	番号	件名	項目	番号	件名	
議案	85	令和7年度(2025年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	議案	106	彦根市営中央駐車場の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	
	86	令和7年度(2025年度)彦根市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)		107	彦根市営河瀬駅前西口駐車場、彦根駅前第1自転車駐車場、彦根駅前第2自転車駐車場、河瀬駅前東口自転車駐車場および河瀬駅前西口自転車駐車場の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	
	87	令和7年度(2025年度)彦根市病院事業会計補正予算(第2号)		108	いろは松駐車場、二の丸駐車場、桜場駐車場、本町駐車場、松原駐車場および京橋口駐車場の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	
	88	令和7年度(2025年度)彦根市水道事業会計補正予算(第1号)		109	荒神山公園および庄塚公園の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	
	89	令和7年度(2025年度)彦根市下水道事業会計補正予算(第2号)		111	彦根市南老人福祉センターおよび彦根市南デイサービスセンターの指定管理者の指定につき議決を求めることについて	
	92	彦根市事務分掌条例の一部を改正する条例案		112	彦根市北老人福祉センターの指定管理者の指定につき議決を求めることについて	
	93	彦根市建築確認等に関する手数料条例の一部を改正する条例案		113	彦根市佐和山デイサービスセンターの指定管理者の指定につき議決を求めることについて	
	98	彦根市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例および彦根市放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案		委員会議案	4	地方自治法第180条議会の委任による専決処分事項の指定の一部を改正する議決案
	99	彦根市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案				
	103	彦根市火災予防条例の一部を改正する条例案				
105	彦根市子どもセンターの指定管理者の指定につき議決を求めることについて					

#### ■賛否が分かれた案件

(○：賛成 ●：反対 ー：議長)

項目	番号	件名	結果	議員名																							
				中川	角井	八橋	堀口	中野	上杉	北川	辻	森野	和田	矢吹	小川	黒澤	足田	伊藤	奥野	安澤	野村	森田	戸崎	馬場	長崎	林	小川
				睦子	英明	龍二	達也	正剛	正敏	元氣	真理子	克彦	一繁	安子	吉則	茂樹	穂子	容子	嘉己	勝	博雄	克司	和子	任男	利幸	隆史	
議案	84	令和7年度(2025年度)彦根市一般会計補正予算(第4号)	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	90	彦根市都市公園運動施設整備基金の設置、管理および処分に関する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	91	彦根市乳児等通園支援事業の設備および運営に関する基準を定める条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	94	彦根市公民館の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	95	彦根市高宮地域文化センターの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	96	彦根市地域体育館の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	97	彦根市デイサービスセンター等の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	100	彦根市農村環境改善センターの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	101	彦根市観光駐車場条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	102	彦根市公園条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	104	彦根市立児童館条例を廃止する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	110	金亀公園の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問	3	公共下水道事業に係る受益者分担金の減免不承認決定処分についての審査請求につき意見を求めることについて	審査庁の見解のとおり棄却されるべき	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■ 議会に提出された報告

項目	番号	件名
報告	24	督促異議の申立てのあった支払督促の申立てに係る訴えの提起について
	25	督促異議の申立てのあった支払督促の申立てに係る訴えの提起について
	26	督促異議の申立てのあった支払督促の申立てに係る訴えの提起について
	27	督促異議の申立てのあった支払督促の申立てに係る訴えの提起について
	28	督促異議の申立てのあった支払督促の申立てに係る訴えの提起について
	29	督促異議の申立てのあった支払督促の申立てに係る訴えの提起について
	30	督促異議の申立てのあった支払督促の申立てに係る訴えの提起について
	31	督促異議の申立てのあった支払督促の申立てに係る訴えの提起について

12月定例会に提出された議案等の詳細についてはこちらから



議案一覧・議決結果

このような討論がありました

諮問第3号 公共下水道事業に係る受益者分担金の減免不承認決定処分についての審査請求につき意見を求めることについて



参考人の高い専門的説明を聞き、市のこれまでの対応に対し、信頼してよいのか疑問を感じた。今回の問題は、行政のあり方そのものが問われる事態であり、市民の信頼を失いかねない問題である。また、今回の件により、一般市民には分かりにくかった行政の仕組みが表に出て課題が可視化された。これを契機として行政が改善されることを願い反対。

- 議案第 84号 令和7年度（2025年度）彦根市一般会計補正予算（第4号）
- 議案第 90号 彦根市都市公園運動施設整備基金の設置、管理および処分に関する条例案
- 議案第 95号 彦根市高宮地域文化センターの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第100号 彦根市農村環境改善センターの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第101号 彦根市観光駐車場条例の一部を改正する条例案
- 議案第102号 彦根市公園条例の一部を改正する条例案
- 議案第110号 金亀公園の指定管理者の指定につき議決を求めることについて



本補正予算および条例案は、子育て施設の縮小や利用料引き上げ、観光駐車場の共用時間を短縮、さらには金亀公園のパークPFI導入により長期にわたり民間に管理を委ねるなど、市民サービスの低下と公共性の後退を招く内容である。市民の憩いの場や活動の機会を守る視点も欠いており、公共施設は市が責任を持って運営すべきであると考えことから反対。

- 議案第 91号 彦根市乳児等通園支援事業の設備および運営に関する基準を定める条例案
- 議案第 94号 彦根市公民館の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 96号 彦根市地域体育館の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 97号 彦根市デイサービスセンター等の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第104号 彦根市立児童館条例を廃止する条例案



こども誰でも通園制度の整備、公民館・体育館の使用料改定やデイサービスセンター・児童館廃止などの各議案は、子どもの安全確保や保育の専門性、市民の学習・運動機会、介護の充実度、児童福祉の理念を損なう内容であり、市民サービスの後退を招くものである。市が本来担うべき役割を弱め、市民が安心して暮らせる基盤を揺るがしかねない点も問題であり反対。



## 一般会計補正予算の主な事業

### 施設型給付費等支給事業

474,737千円

施設型給付費が当初の見込みを上回るため、必要となる経費を補正するもので、国庫支出金、県支出金及び寄附金をもって賄うものです。

(積算内容)	所要額	現計額	補正額
・ 保育所運営費委託料	2,933,280千円	2,600,627千円	= 332,653千円
・ 法内扶助費	769,910千円	632,938千円	= 136,972千円
・ 償還金、利子及び割引料	5,112千円	0	= 5,112千円
計			474,737千円

### ふるさと彦根応援寄附事業

133,106千円

寄附金額が当初の見込みを上回るため、必要となる経費を補正するものです。

(積算内容)	所要額	現計額	補正額
・ 広告料	18,000千円	15,000千円	= 3,000千円
・ 手数料	191,160千円	166,807千円	= 24,353千円
・ ふるさと納税関連委託料	887,444千円	781,691千円	= 105,753千円
計			133,106千円

### 生活保護費等給付事業

50,439千円

生活扶助費、施設事務費等の給付額が当初の見込みを上回るため、必要となる経費を補正するもので、国庫支出金をもって賄うものです。

(積算内容)	所要額	現計額	補正額
・ 法内扶助費	1,434,830千円	1,392,830千円	= 42,000千円
・ 償還金、利子及び割引料	8,439千円	0	= 8,439千円
計			50,439千円

## 予算常任委員会

### 議案はいずれも原案のとおり可決

予算常任委員会は、12月12日(金)に委員会を開催し、6件の議案について慎重に審査しました。

#### 【審査】

- ・議案第84号、議案第85号、議案第86号、議案第87号、議案第88号、議案第89号

#### 【主な質疑】

- 議案第84号に対して
  - Q 食材価格が高騰しているが、給食の質の確保に対する見解は。
  - A 食材は年々高騰しており、特に米の価格が高騰している。国の基準以下にならないよう給食の質は維持したい。
  - Q 金亀公園指定管理業務が22年と長期だが、事業者の倒産等のリスク等への考えは。
  - A 協定では物価上昇は基本的に事業者負担であり、著しい物価変動の際は、協議の上見直すこととしている。また民間事業者が設置する収益施設は、第三者の権利設定ができないこととしている。なお、事業継続が不能の際は、建物を除却して返却することを条件としており、厳格に守っていく。

#### ○議案第88号に対して

- Q 水道水への異臭対策は。
- A 水道水の異臭対策として令和7年度は68tの活性炭を使用しており、例年に比べ多量となっている。来年度以降の状況は不明だが、浄水過程で活性炭との接触時間が短いため、延長する仕組みを検討中。

#### 【主な討論】

#### ○議案第84号に対して

- 反対 子育て支援のうち、国の物価高騰の支援金を全て給食費の高騰対策に充て、市民負担を生じさせていない点は評価する。一方で、子どもセンターを含む児童館の維持管理を低く見積っていることからサービス内容への不信がぬぐえず、反対。

#### 【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

## 福祉病院教育常任委員会

### 彦根市乳児等通園支援事業の設備および運営に関する基準を定める条例案等9件を可決

福祉病院教育常任委員会は、12月15日(月)に委員会を開催し、議案9件について慎重に審査しました。

#### 【審査】

- ・議案第91号、第94号、第97号、第99号、第104号、第105号、第111号、第112号、第113号

#### 【主な質疑】

- 議案第91号に対して
  - Q 事業実施の見通しは。
  - A 人員を配置しても利用がないと給付を受けられない等あり、動向や意向を見極めながら取り組んでいく。
- 議案第97号に対して
  - Q 利用率および廃止についての利用者や職員への周知や対応は。
  - A 利用率は61%強。利用者や職員への周知や対応は市と連携し事業者が責任をもって行うこととなる。
- 議案第105号に対して
  - Q スタッフにはどのような資格者がいるのか。
  - A 保育士や教員の有資格者がいる。

#### 【主な討論】

#### ○議案第91号に対して

- 反対 子どもの命と安全や、成長過程に応じた保育の専門性への懸念から反対。

#### ○議案第94号に対して

- 反対 公共性が高いと思われる公民館利用料を、受益者負担論で見直すのは不適切と考え反対。

#### ○議案第97号に対して

- 反対 老後の心配を助長することになると考え、市の施設として存置すべきで反対。

#### ○議案第104号に対して

- 反対 児童福祉法の精神にのっとり、市は児童を心身ともに健やかに育成する責任があると考え反対。

#### 【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

## 市民産業建設常任委員会

### 議案は原案のとおり可決、諮問は審査庁の見解のとおり棄却されるべきものとする

市民産業建設常任委員会は、12月1日(月)、12月10日(水)、12月16日(火)に委員会を開催し、10件の議案、1件の諮問について慎重に審査しました。なお、諮問第3号の審査のために参考人を招致しました。

#### 【審査】

- ・ 議案第90号、議案第95号、議案第100号、議案第101号、議案第102号、議案第106号、議案第107号、議案第108号、議案第109号、議案第110号
- ・ 諮問第3号

#### 【主な質疑】

- 議案第90号に対して
  - Q 人工芝の張り替えの期間はどの程度か。
  - A おおむね10年間で張り替える。
- 議案第95号に対して
  - Q 施設管理に関するランニングコストはどのくらいか。
  - A 令和6年度で人件費を除き約570万円。
- 議案第100号に対して
  - Q 使用料改正による増収額はどの程度か。
  - A 年間約20万程度と見込んでいる。
- 諮問第3号に対して
  - Q 負担金の計算方法は。
  - A 県内では市街化区域、市街化調整区域とも地積割り方式で計算している市町が多いが、実態として不公平があることを理解し規則等で運用する市もある。(参考人)
  - A 市内を8つの負担区分に定め、負担金単価に公簿面積を掛けて負担金を算定している。(上下水道業務課)
  - Q 市は審査請求人に対する説明は十分だったのか。
  - A 丁寧に説明してきたが、見解の相違があったと感じている。(上下水道業務課)
  - A 審理員からの意見(適切で分かりやすい記載に努めるべき)もあり、今回の説明は言葉足

らずの部分があったことを認め、審査庁として処分庁に伝える予定。(上下水道総務課)

#### 【主な討論】

- 議案第95号に対して
  - 反対 市民の生活が厳しい中、市民が利用する施設等であるにも関わらず、1.5倍に値上げするのは利用者の立場から考えれば、利用控えも考えられ反対。
- 議案第110号に対して
  - 反対 パークPFIという手法での指定管理であるが、期間が20年間というのはかなりの長期であり最終的な責任は市が持つことになり、不安もあり反対。
- 諮問第3号に対して
  - 賛成 当該土地が条例に定める減免規定に該当しないこと、判断に当たり裁量権の逸脱や濫用が認められない。また負担金について他の受益者との公平性を確保する必要があり賛成。
  - 反対 市民が納得できないまま諮問するのは問題があり、今後も丁寧な形で進めるべきである。審査請求人からはいろいろ提案もされており、問題があるのは確かなことであると捉えているので反対。

#### 【結果】

- ・ 議案はいずれも原案のとおり可決
- ・ 諮問は審査庁の見解のとおり棄却されるべき

## 企画総務消防常任委員会

### 議案はいずれも原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会は、12月17日(水)に委員会を開催し、2件の議案について慎重に審査しました。

#### 【審査】

- ・ 議案第92号、議案第96号

#### 【主な質疑】

- 議案第92号に対して
  - Q 平和堂HATOスタジアム競技場照明について、県とのパイプ役として副市長はどのように進めようとしているか。
  - A 照明について一定の基準を満たせるよう、市長ともども県に要望をしたい。
  - Q 危機管理課を市長直轄組織から廃止して総務部とするが、他市町のように最終責任者が直接指示を出せるようにすべきではないか。
  - A 防災訓練、自治会対応は総務部の方がよく、

緊急時対応は市長をトップとする災害対策本部の設置で対応する。

- 議案第96号に対して
  - Q 彦根市地域体育館の使用料値上げで施設改修費の確保につながるか。
  - A 令和6年の使用料は約91万円であった。同様の利用を想定すると、令和8年4月からの市外料金新設で年間7万円、令和9年4月からの使用料金改定で年間35万円の増収となるが、平均施設維持費約250万円の改善にはつながりにくい。

#### 【結果】

- ・ 議案はいずれも原案のとおり可決



# 12月定例会個人質問

21人の議員が、市政に対する一般質問を行いました

本会議では、事前申し込みによる手話通訳を実施しています。



## ライブ・録画配信の視聴について



▲彦根市議会インターネット映像配信はこちら

本会議は、ライブ・録画配信ともに映像でご視聴いただけます。また、常任委員会と特別委員会についても、ライブ配信を映像でご視聴いただけます。

配信については、左のQRコードまたは「彦根市議会インターネット映像配信」にてご覧ください。

(<https://hikone-city.stream.jfit.co.jp/>)

彦根市YouTubeチャンネルでも本会議映像をご視聴いただけます。



▲彦根市YouTubeチャンネルはこちら

## 各議員の質問をQRコードから見る

各議員ページ右上のQRコードを読み取っていただくと、それぞれの議員の質問内容に関する録画映像配信ページにつながります。



疋田 菜穂子議員

**Q** 発達障がい切れ目のない支援体制はどのようになっているか

**A** いつ、誰がどの窓口にも相談しても対応可能な体制づくりに努めている



### その他の質問

- ・就学前、義務教育期間中、義務教育終了後から成人以降の発達障がい支援はどのようになっているか

**Q** 発達障がいからくる困窮や社会的孤立など複合的な課題への対応は。

**A** 発達支援センターだけでなく、どこへ相談しても相談を受けた窓口からしかるべき部門へと連絡を行い連携した支援を行っている。また、こうした連携を円滑かつ迅速に行えるよう、研修会、外部研修の受講などで職員のスキルアップも行い、万全の体制を構築することに努めている。従って、こうした困難を抱えている場合は安心してどの窓口でも相談してほしい。

**Q** 保育所での発達障がい疑われる児童への対応は。

**A** 家庭での児童とは違った様子が見られ、保護者が戸惑いや不安を感じる場合が多いため、まずは保護者との信頼関係を築くよう、誠意をもって丁寧に、思いに寄り添うことを心掛けている。



▲彦根市発達支援センター





小川 吉則議員

**Q** 令和8年度以降の彦根市男女共同参画センター「ウィズ」の取扱いは

**A** 厳しい財政状況を踏まえ令和7年度末で運営を終了する方針である



その他の質問

- ・障がい者支援について
- ・子ども支援について
- ・旭森学区の防災体制について

**Q** 令和8年度以降の彦根市男女共同参画センター「ウィズ」の取扱いは、どうなるのか。

**A** 厳しい財政状況を踏まえ、令和7年度末で運営を終了する方針である。しかしながら、パブリックコメントでの様々な意見を踏まえ、男女共同参画の取組を今後も着実に進めていくための仕組みづくりや体制づくりについて現在検討を進めており、必要な条例措置等につき、令和8年3月市議会定例会に諮りたい。

**Q** 令和8年度以降の市の男女共同参画事業の展開はどうなるのか。

**A** これまで彦根市男女共同参画計画「ひこねかがやきプランⅢ」に基づき、さまざまな施策に取り組んできた。令和8年度以降についても、引き続き同計画を基本とし、事業の実施と充実に努めていく。



▲男女共同参画センター「ウィズ」



中川 睦子議員

**Q** 市は金城こども園の公募者として管理監督の責任があるのでは

**A** 内容に応じ、県と協同して引き続き指導していく



その他の質問

- ・男女共同参画センター「ウィズ」の存続を求める声にどう応えるか
- ・北デイサービスセンターの廃止理由は

**Q** 金城こども園から転園した児童は何人で、その理由は。

**A** 開園から令和7年11月までの間で16人。理由は、担当保育士が繰り返し短期間で変更になり信頼が築けなかった、障害児加配担当保育士が十分に配置されない、園だより等の情報発信が少ないなど。

**Q** どのように対応したのか。

**A** 園長やエリアマネージャーに対し改善指導を行うが、十分な改善がされない場合は代表取締役に対し指導した。また、保護者としてしっかり話し合うよう指導した。

**Q** 市には公募者としての管理監督の責任があるのでは。

**A** 市内全保育施設に対し管理監督の責任があり、内容に応じ許認可権を持つ県と協同して、引き続き指導していきたい。



▲金城こども園正面玄関



辻 真理子議員

**Q** 2024年度全国公立病院の約80%が赤字決算となった理由は

**A** 医療サービスは非課税であり仕入経費の消費税を控除できないため



その他の質問

・産後ケア事業について

**Q** 全国の公立病院の約80%が赤字決算となった理由は。

**A** 病院の提供する医療サービスは消費税が非課税のため、仕入経費の消費税を控除できず、医療機関の負担となっている。近年の物価高騰により医療機器や材料、光熱費などの仕入価格を押し上げ、病院が負担する消費税額が増加している。

**Q** 高額薬品の保険適用は妥当か。

**A** 新薬の開発によって、それまで治療困難であった疾患に対して有効な治療ができることは大きな医療的進歩である。患者さんの生活の質向上にも直結する。一方、高額薬品の保険適用により結果的に現役世代の保険料負担になることは、制度上の課題であり、今後は国における制度全体の仕組み作りが重要であると考えている。



▲彦根市立病院



野村 博雄議員

**Q** 通学路上の危険な空き家や死亡事故発生箇所への対策の推進は

**A** クッションドラムの設置や外側線の引き直し、カーブ区間の路面標示等対策を進める



その他の質問

・雪対策について  
 ・有効期限満了マイナンバーカードの保有等について  
 ・中学進学時の制服採寸等について  
 ・JR駅の改善について

**Q** 通学路上にある管理不全で危険な空き家への対策の推進状況は。

**A** 新たな条例を施行して当該空き家に近づかないようクッションドラムを1件設置した。今後も引き続き所有者に指導を行うとともに、パトロールにより危険性の状況把握に努め、状況によっては条例に基づく措置等の対応を行う。

**Q** 死亡事故が発生した道路の安全対策への取組は。

**A** 滋賀県警察本部や彦根警察署と現地で立会を行い、事故原因に応じた効果的な安全対策を警察指導のもと実施し再発防止に努めている。令和7年10月26日に発生した死亡事故については、捜査中のため詳細には示せないが、外側線の引き直しやカーブ区間の速度抑制を目的とした路面標示を施工する等対策を進める。



▲事故が発生した道路



北川 元気議員

**Q** 庁舎内での政党機関紙の勧誘・集金行為の実態と対策は

**A** 匿名での実態調査を含め、正確な状況把握と対応を検討する



その他の質問

- ・職員を守る条例の制定見送りについて
- ・新ごみ処理施設整備の新たな課題と今後の方針について

**Q** 他市において、議員による「しんぶん赤旗」の勧誘や集金が、職員への圧力となり行政の中立性を損なう問題がある。本市の実態はどうか。庁舎管理規則の許可を出しているのか。

**A** 現時点で執務時間中の勧誘事実は把握しておらず、規則に基づく許可申請の実績もない。職員の心理的負担など、正確な状況は全面的には把握できていない。

**Q** 立場上、職員は断りづらい。職員を守るため、匿名での全庁的な実態調査を行うべきではないか。

**A** 他市の事例を重く受け止め、匿名での全庁的な実態調査の実施も含めて職員の声を確認し、必要に応じて適切な対応を検討していく。



安澤 勝議員

**Q** 生活道路でもある狭あいな中山道の交通対策を真剣に検討すべきでは

**A** 可能な限り早期に事業化できるように努める



その他の質問

- ・佐和山トンネル出入り口の凍結防止設備の稼働基準は
- ・立花船町線の2か所の信号に右折矢印信号を設けるべきでは

**Q** 工事用仮設道路を活用して中山道バイパスとして事業化し、中山道の交通対策を真剣に検討すべきでは。

**A** 中山道線の交通安全対策は、令和4年3月に策定した「彦根市道路整備プログラム」において、名神高速道路彦根インターチェンジへのアクセス確保の必要性などから、延長約2.3kmの彦根インター線を将来の広域幹線道路として位置付けており、令和6年3月には、仮設道路を含め鳥居本町から小野町までの新幹線軌道沿いを通り、原町までの区間において、将来の道路事業を実施する路線として市道認定を行った。中山道において交通渋滞が発生し、市民生活に影響を及ぼしたことから、本市の非常に厳しい財政状況を踏まえ、可能な限り早期に事業化できるように努める。



▲狭あいですれ違いが難しい中山道



角井 英明議員

**Q** 加齢性難聴者への補聴器購入補助を検討しては

**A** 財政が厳しく補聴器購入補助は予定していない



その他の質問

- ・稲枝3小学校の統廃合問題
- ・彦根市の生ごみの処理

**Q** 加齢性難聴が及ぼす影響は。

**A** 会話が聞き取りにくくなることで家族や地域との交流が減り、孤立感や意欲低下を招き、認知機能の低下につながる可能性がある。

**Q** 補聴器購入補助を実施している市町の状況を把握しているか。

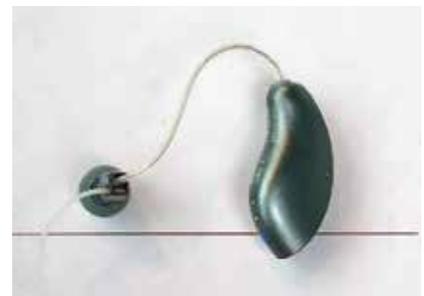
**A** 各市町の助成対象者、助成上限額、予算額、助成実績、財源などを把握している。

**Q** 補聴器購入補助を実施することの効果は。

**A** 高齢者の経済的負担が軽減され、購入をためらう人も入手しやすくなる。

**Q** 予算規模は大きくなり取り組めるのでは。

**A** 実施市町の予算額は約10万円から約400万円となっている。予算額としては大きくなり取り組めるのではとの見方もあるが、厳しい財政状況の中では費用のねん出が困難で現時点では購入補助は予定していない。



▲耳かけ型補聴器



森野 克彦議員

**Q** 「ひこねラーケーションの日」の現在の申請状況は

**A** 申請状況はのべ約1,100人となっている



その他の質問

- ・生徒会長公約実現事業について、事業内容拡充の見解は
- ・全国的に問題となっている学校での盗撮事件についての対応は

**Q** 「ひこねラーケーションの日」の現在の申請状況は。

**A** 本市においては、令和7年6月から令和8年3月末まで「ひこねラーケーションの日」の取組を試験的に実施しており、令和7年11月末までの申請状況はのべ約1,100人となっている。

**Q** 取得の目的は。

**A** 大阪・関西万博が51%、国スポ・障スポが14%、歴史や文化にふれる活動が12%、屋外での体験活動が11%、その他、学習関連施設の訪問、音楽を鑑賞する活動、職場体験的な活動などがあった。

**Q** プラスの効果として確認できた内容は。

**A** 体験を通じてこれからも挑戦しようという気持ちが高まり有意義な学びとなった、家族で大自然を感じたり感動体験ができてよかった、土日に仕事のある家庭にとってありがたかった等の効果が確認できた。



▲「ひこねラーケーションの日」のリーフレット



黒澤 茂樹議員

**Q** 市長と市民の対話集会開催の具体的な実施方法は

**A** 対話集会はテーマごとや地域ごとの単位で実施したい



その他の質問

- ・生徒会長公約実現事業の実施手法について
- ・学校部活動、地域部活動の課題と今後の取組、予算措置の充実に ついて

**Q** 多くの市民から市長との対話を望む声を聞いているが、具体的にどのような方法で実施するのか。

**A** 対話集会は、テーマごとや地域ごとの単位での実施を考えており、小学校区やより細かい町単位などの設定も含め実施する。開催方法は地域や団体から開催要望を受ける方法と、市側からアプローチする方法の双方を検討している。参加人数の多少により実施の可否を決めることはせず、関心を寄せる多くの方に参加いただきたい。

**Q** 開催日や開催時間帯、今後の予定は。

**A** 曜日や時間帯を問わず、公務が入っていない場合は努めて要請に応える。また、対話集会の計画的な実施は、来年度から本格的にスタートし、17小学校区を始めとし地域別、世代別、テーマ別などいろいろな切り口でゴールを定めず開催する。



▲市長との対話の様子（イメージ）



伊藤 容子議員

**Q** これまでの小児科の医師確保への対応とその効果は

**A** 市長と同行し医師招へいを行うなどの結果医師1名の派遣を調整中



その他の質問

- ・高齢者にとってより住みやすい町に向けて
- ・乳幼児から青年期・成人期までの連続した学びを保障する体制づくりについて

**Q** 小児科医の働き方改革が及ぼす医療体制への影響は。

**A** 改革による医療体制への影響はない。また、正規職員の医師が令和3年度5名から令和5年度以降3名体制になったが、救急医療体制の湖東と湖北圏域のブロック化の具構想を踏まえ、火・木曜日の夜間、土曜日午前、日曜日に当直体制を一部縮小し（それ以外は長浜の病院で対応）、できる限り救急体制を維持している。

**Q** これまでの小児科の医師確保への対応とその効果は。

**A** 病院事業管理者と病院長が大学等の関係機関を訪問し、医師招へいを働きかけ診療体制を維持してきた。今年度末に正規職員1名が定年退職予定で、現行の診療体制を維持するため、令和7年7月に京都大学医学部へ訪問の際には市長も同行して医師招へいの働きかけを行うなどし、令和8年度から常勤医師1名の派遣を大学医局と調整中である。



▲高度急性期医療を担う「地域医療支援病院」として位置付けている彦根市立病院



戸崎 克司議員

**Q** 市民交流センターの今後のあり方の検討については

**A** 全庁的な視点で部局横断型の検討を進めていく



その他の質問

- ・安清跨線橋の修繕や周辺の道路の整備を優先しては
- ・市民交流センターおよび東山児童館を防災・防犯拠点として活用しては

**Q** 近年の市民交流センターの修繕状況は。

**A** 施設の屋根や外壁、空調、トイレ等令和3年度以降の修繕費用は合計で約2,424万円となっている。

**Q** 市民交流センターの今後の利用方法は。

**A** 市と地域の皆さまとの丁寧な対話や、地域内でも調整や合意形成いただくための期間が必要と考えている。その間、できる限りの改善や見直しを行うことで、現在の運営をより効率的なものになるように取り組んでいく。

**Q** 東山児童館閉館に伴いチャチャチャひろばの移転、継続は。

**A** チャチャチャひろばは、市北部地域の子育て支援拠点としてのニーズが高いと考えている。より安全で快適にご利用いただけるように、現在アル・プラザ彦根4階へ移転を考え調整をしている。



▲市民交流センターおよび東山児童館の様子



馬場 和子議員

**Q** 国スポ・障スポのレガシーでもある施設の多様な活用に対する見解は

**A** スポーツ以外の様々な催し、イベント等でも活用いただけるよう努める



その他の質問

- ・市の所有する不動産の状況と活用は
- ・俳遊館を残すことに対する市の見解は
- ・レイラック滋賀FCへの親近感を高めるためには

**Q** 国スポ・障スポのレガシーである平和堂HATOスタジアムやプロシードアリーナHIKONEの多様な活用への期待を込めて、スポーツをする人だけではなく広く県民・市民が恩恵を享受できるようコンサートやライブなど多様な活用に対する見解は。

**A** 両大会終了後の活用としてスポーツでの使用を第一としながら施設の知名度をより高め地域振興につなげるためにはコンサートなど多様な催しでの活用も有効と考えている。プロシードアリーナHIKONEのメインアリーナではこれまでも主催者側が必要な機材、設備を準備され音楽イベントや「ご当地キャラ博」などのイベントが開催されたほか、3月には「彦根映画祭」が予定されており、今後も様々なイベントで活用いただけるよう努める。



▲平和堂HATOスタジアム(左)とプロシードアリーナHIKONE(右)





森田 充議員

**Q** 彦根市にとって自治会とは

**A** 安心・安全で住みよい地域づくりの基盤となる大変重要な存在

**Q** 彦根市の目指す姿は。

**A** 地域に暮らす皆様が、無理のない範囲で互いに支え合い、安心して暮らすことのできる、時代に応じた柔軟で持続可能な地域コミュニティであると認識している。

また、地域ごとの実情に応じて、担い手の負担が偏らない仕組みづくりや、参加しやすい環境整備を進めることが重要であると考えている。

**Q** 持続可能な自治会運営を目指す上での課題解決策は。

**A** 自治会を取り巻く状況は多様化しており、いくつかの方向性について検討を進めている。一つ目は自治会役員の負担軽減で、二つ目は自治会活動への参加促進。自治会は地域を支える大変重要な存在であり、その活動が持続可能なものとなるよう、自治会の自主性を尊重しつつ地域の皆様と丁寧に意見交換を行いながら、必要な支援のあり方を検討していく。



その他の質問

- ・県予算等に対する要望書の要望事項の選定基準は
- ・「職員を守る条例」が今定例会に出ていない理由と制定の期限は



▲宇都宮市地域で支え合う自治会条例（宇都宮市の例）



八橋 龍二議員

**Q** おさつ街道の事故多発を受け横断歩道設置緩和基準の再協議の進捗状況は

**A** 設置時期の確約はできないが令和8年度中を目指し警察内部で調整をされている

**Q** 通学路で重大事故が続くことへの危機意識は。

**A** 通学路として多くの児童生徒が利用するおさつ街道において、死亡事故を含む事故が連続している現状を大変危惧している。通学路を所管する教育委員会としても、今後、警察や道路管理者、交通政策課等と共通理解を図りながら、通学路の安全確保に努める。

**Q** 速度抑制および事故防止のための緊急対策は。

**A** 道路管理者が実施できる安全対策として外側線の引き直しおよびカーブ区間での速度抑制を目的とした路面表示の施工について、警察と協議を行い今年度内に完成する予定。



その他の質問

- ・国スポ・障スポ総務課・競技課について
- ・国スポ・障スポの成果や課題について



▲路面表示の例



中野 正剛議員

**Q** ごみの分別や減量を動画で説明してはどうか

**A** 彦根市公式のYouTubeチャンネル活用を検討する



その他の質問

- ・彦根市でも感震ブレーカーの普及を
- ・働く女性の健康支援強化について

**Q** リチウムイオン電池が原因となる処理施設やパッカー車への影響は。

**A** リチウムイオン電池が原因となる粗大ごみ処理施設での火災や事故は、令和4年度1件、令和5年度3件、令和6年度3件発生している。またパッカー車でも令和6年度1件、令和7年度1件発生している。

**Q** ごみ等の分け方・出し方豆知識の改正・配布はしないのか。

**A** 新施設の供用開始に合わせて改訂を検討していたが、清掃センターを引き続き使用していくことが想定されるため、改訂して全戸配布に向けた協議を進めている。

**Q** 動画での説明も取り入れてはどうか。

**A** よりわかりやすくごみに関する情報発信を行っていくためにも、彦根市の公式YouTubeチャンネルを活用して、ごみの分別や減量に関する動画作成を検討していく。



▲容器包装プラスチックごみ袋に入っていた不適物



長崎 任男議員

**Q** グリーンピアひこねは今後も存続すると考えてよいか

**A** 総合管理計画に基づき適切な管理に努め存続させたい



その他の質問

- ・スポーツ部の廃止理由は
- ・Jリーグ誘致推進室の担当部署は
- ・レイラック滋賀FCの観客動員が観光の起爆剤になるのでは

**Q** グリーンピアひこねの施設使用料の見直しの意図は。

**A** 社会経済情勢等の変化に適切に対応した受益者負担とするため、見直しを行う。

**Q** グリーンピアひこねがある亀山学区は、人権市民学習会や交通安全推進大会はグリーンピアひこねで開催され、どの行事も学区全体から大勢の方が参集し大変盛り上がり、今やなくてはならない施設である。市民にとって必要不可欠な施設のグリーンピアひこね（農村環境改善センター）は今後も存続すると考えてよいか。

**A** 農村環境改善センターは今年で築34年を迎えることから、老朽化に伴う対応が必要になっている。利用者数は減少傾向にあるものの利用ニーズはあると考えているため、適切な管理に努め存続させたい。



▲平日でも賑わっているグリーンピアひこね



堀口 達也議員

**Q** 上下分離方式で今後想定される彦根市の負担額は

**A** 市の負担割合は8.91%、今後10年で約12億円が必要



その他の質問

- ・市長公約である民間基金の活用の進捗状況は
- ・申請・報告手続きの簡素化やサポート体制の状況は

**Q** 今後想定される負担額の詳細は。

**A** 設備投資・修繕・保守費用のうち県50%、沿線5市5町50%で、本市の負担割合は全体の8.91%。上下分離後の負担額は、R6年度約1.62億円、R7年度約1.81億円、合計約3.43億円。今後10年間では総額約16億円、一般財源で約12億円が必要と試算される。

**Q** 市民への説明・情報公開の必要性は。

**A** 近江鉄道に関する市の負担額はHPなどに記載がなく、市民には分かりにくい状況である。今後は負担内容を分かりやすく掲載し、近江鉄道線管理機構にも積極的な情報発信を求める。

**Q** 持続可能性への市長の見解は。

**A** 10年間の計画は財政状況を踏まえ毎年厳しく精査し、安全運行を確保しつつ整備の延伸や削減を検討し財政リスクの抑制に努める。また大幅な負担増が提案された場合、本市の財政リスクを最優先に意見する方針。



▲地域を支える公共交通



上杉 正敏議員

**Q** 小野町エリアの仮設道路を彦根ICまで延長してはどうか

**A** 可能な限り早期に事業化できるように努めていく



その他の質問

- ・安食川河川改修工事について
- ・学校特別休暇制度の導入について

**Q** 小野町エリアにあるJR東海の仮設道路を彦根ICまで延長しては。

**A** JR東海が設置した仮設道路は、本市としてもその有効活用の可能性について認識を持っている。令和4年3月に策定した「彦根市道路整備プログラム」では、議員が提案されたように名神彦根ICへのアクセス確保の必要性などから、延長約2.3kmの彦根インター線を将来の広域幹線道路として位置付けた。令和6年3月には、この仮設道路を含め、鳥居本町から小野町への新幹線軌道沿いを通り原町までの区間において、将来の道路事業を実施路線として市道認定を行った。令和7年11月の3連休に中山道が交通渋滞になり市民生活に影響を及ぼしていることから、非常に厳しい財政状況ではあるが可能な限り早期に事業化できる様に努めていく。



▲着工が待たれる彦根インター線



小川 隆史議員

**Q** フリースクールへの  
施設運営補助について

**A** 前向きに検討している



その他の質問

- ・ 財政再建化への取組について

**Q** 他市町で補助をしている自治体の基準から判断すると、フリースクールてだのふあがその自治体であれば、施設運営補助を受けられるか。

**A** 実施されている自治体の詳細を承知していないが、自治体の基準に照らし合わせると、てだのふあについては、実施されている自治体においては、補助対象になるところもあるかと認識している。

**Q** フリースクールてだのふあは、休眠預金制度の援助が令和7年度で終わり、以降、施設運営資金が不足し、閉鎖の検討が必要になると聞いている。施設運営補助の実施について市長の見解は。

**A** 今、フリースクールで学ぶ子が、この先、路頭に迷わない体制や支援をしたい気持ちがある一方、行政の連続性に対する整理、検討が必要と思っているが、前向きに検討させていただいている。



▲フリースクールてだのふあ関係者と市長との懇談会



奥野 嘉己議員

**Q** 開庁時間短縮の効果は

**A** 業務改善の打ち合わせや、  
オンライン化の取組が進んでいる



その他の質問

- ・ NHK受信料支払い（議案第84号）について

**Q** 開庁時間短縮で、時間外勤務手当の削減等の効果はいかほどだったか。

**A** 正規職員で4,400時間の残業減で1,100万円程度の削減効果が出た。

**Q** 開庁時間短縮により、会計年度任用職員のうち、何名程度の方がフルタイム勤務からパート勤務になったのか。またひと月当たりの減収は何%程度なのか。

**A** 130名がパートタイム勤務に変更となり約4%の減収となった。

**Q** 自治会役員等の相談のため、開庁時間を月1回でも延長できないか。

**A** 人員確保、人件費、光熱費などの課題もあり、窓口対応の在り方について継続的に改善に取り組む。

## 開庁時間 変更のお知らせ

「市民サービスの向上」と「職員の働き方改革」の推進を目的に下記のとおり開庁時間を変更しました。

### 令和6年

## 10月1日 火 から

# 9:00~16:45

ご理解とご協力をお願いいたします。

12月臨時会の結果

原案のとおり 予算関係3件 条例関係2件

12月臨時会 議案の審議結果

会期：12月26日(金)

■ 全員賛成で可決等した議案等

項目	番号	件名
議案	118	彦根市職員の給与に関する条例および彦根市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例案

■ 賛否が分かれた案件

(○：賛成 ●：反対 ー：議長)

項目	番号	件名	結果	中川	角井	八橋	堀口	中野	上杉	北川	辻	森野	和田	矢吹	小川	黒澤	正田	伊藤	奥野	安澤	野村	森田	戸崎	馬場	長崎	林	小川	
議案	114	令和7年度(2025年度)彦根市一般会計補正予算(第5号)	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	115	令和7年度(2025年度)彦根市水道事業会計補正予算(第2号)	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	116	令和7年度(2025年度)彦根市下水道事業会計補正予算(第3号)	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	117	彦根市特別職の常勤職員の給与等に関する条例および彦根市病院事業管理者の給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■ 議会に提出された報告

項目	番号	件名
報告	32	訴えの提起とみなされた支払督促の申立てに係る請求につき和解をすることについて
	33	訴えの提起とみなされた支払督促の申立てに係る請求につき和解をすることについて

このような討論がありました

- 議案第114号 令和7年度(2025年度)彦根市一般会計補正予算(第5号)
- 議案第115号 令和7年度(2025年度)彦根市水道事業会計補正予算(第2号)
- 議案第116号 令和7年度(2025年度)彦根市下水道事業会計補正予算(第3号)
- 議案第117号 彦根市特別職の常勤職員の給与等に関する条例および彦根市病院事業管理者の給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例案

反対

議案第114号は子育て応援手当自体は否定しないが、国の物価高騰対策の遅れで、支給は年度末やそれ以降となり、市民の暮らしや自治体への負担が大きい点を指摘する。人事院勧告に伴う給与改定では、会計年度任用職員に遡及措置がなく不公平であり、財政が厳しい中での特別職の期末手当増額も市民感情に反する。併せて遡及措置のない議案第115号・116号、特別職の期末手当引上げの議案第117号も容認できないため反対。



## 議会改革特別委員会

令和7年11月19日(水)および12月1日(月)に議会改革特別委員会を開催し、議員定数について、協議・検討しました

11月19日に開催した議会改革特別委員会では、議員定数を何名削減するかについて、各会派から意見を出し合い、協議を行いました。

この協議結果を受けて、各会派で改めて検討を進め、12月1日の委員会で再度協議することとなりました。

12月1日の委員会では、再び各会派から意見をいただいた結果、3名削減が1会派、2名削減が4会派、1名削減が1会派となり、2名削減を支持する会派が多数となりました。

このことから、議会改革特別委員会としては、議員定数を2名削減する内容で3月定例会にて条例改正を行うことを決定しました。

今回までの協議・検討事項についてはひこね市議会だより第171号をご覧ください。  
<https://www.city.hikone.lg.jp/material/files/group/15/22-24.pdf>



## 「議会広聴の日」を開催しました！

彦根市議会

議会  
広聴

の日

『議会広聴の日』は、普段市民の皆さまが考えている市政へのご意見について、市議会議員と気軽にお話しいただける「意見交換の場」です。



今回は、令和8年1月8日(木) 10時から14時まで、彦根市役所1階の市民ホールにて実施しました。

12組15名の方々にお越しいただき、ごみ処理施設や小学校の老朽化等に関するご意見をお聞かせいただきました。また、アンケートに6名の方々にご回答くださいました。

いただいたご意見は、今後の議会活動に生かしてまいります。

## ミシガン州立大学連合日本センターの学生が議場を見学

11月27日(木)に授業「Japanese Politics & Diplomacy」の受講生7名が「行政の現場でどのような業務が行われているか理解を深める」ことを目的に、議場を見学しました。



## 彦根市長 VS 彦根市議会正副議長 真剣勝負！カロム対決



12月24日(水)に彦根市長と彦根市議会正副議長がカロム対決を行いました！

真剣勝負の行方は…！？

詳しくは彦根市YouTubeチャンネルをご覧ください。

URL <https://youtu.be/oZiPd76Vd6E>



▲彦根市YouTubeチャンネルはこちら

### ぜひ傍聴にお越しください。

いつでも簡易な手続きで傍聴ができますので是非お越しください。

議場・委員会室ともに彦根市役所本庁舎5階にあります。

議場は定員45人、委員会室は定員9人です。

#### 本会議・委員会の傍聴の仕方

- ① 議会課（本庁舎5階）で「傍聴人受付簿」に住所やお名前等をご記入ください。
- ② 傍聴者用の議案書、アンケート用紙、名札を受け取り議場または委員会室へ
- ③ お帰りの際、アンケートにご協力ください。

### 次の定例会は



## 3月2日(月)開会です

#### 本会議・委員会の日程（予定）

月 日	内 容	時 刻
3月 2日 (月)	開 会	9 : 30
3月 9日 (月)	個人質問	
3月10日 (火)		
3月11日 (水)		
3月13日 (金)	予 算 常 任 委 員 会	13 : 30
3月16日 (月)		
3月17日 (火)	市 民 産 業 建 設 常 任 委 員 会	
3月18日 (水)	企 画 総 務 消 防 常 任 委 員 会	
3月19日 (木)	福 祉 病 院 教 育 常 任 委 員 会	9 : 30
3月23日 (月)	本 会 議	
3月24日 (火)	閉 会	
3月26日 (木)		